

6 交流拡大による活力創出プロジェクト

概要

イベントの開催や交流拠点の整備等を通じて交流を拡大し、県民の活力を創出・発信することにより、山口ならではの豊かさの創出につなげます。また、人やモノの流れの拡大を支えるため、空港、新幹線停車駅等を起点とする交通ネットワークの機能強化や、高速道路・国道・県道等の道路網の整備・充実を推進するとともに、海外自治体との交流やグローバル化に対応した多文化共生による地域づくりを進める

重点策

- 21 山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信
- 22 交流を活発化する交通ネットワークの機能強化
- 23 広域的な交通インフラの整備
- 24 国際交流の推進

(1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標		
	★★★★★ (目標を達成)				
	★★★★ (計画を上回る)				
	★★★ (ほぼ計画どおり)	4	山口きらら博記念公園年間利用者数 等		
	★★ (計画を下回る)				
★ (計画から大幅に遅れ)					
県民実感度調査 (%)	調査項目				
	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる	27.2	25.9	46.9	
	山口きらら博記念公園を拠点とした交流拡大など、県民の活力の創出・発信が図られている	38.3	29.6	32.1	

(2) 主な取組と成果

主な取組と成果

- 山口きらら博記念公園にて大規模イベントを開催
 ワイルド・バンチ・フェス2022 (9月17日 来場者 14千人)
 ゆめ花マルシェ2022 (10月8・9日 来場者約 22千人)
 ドッグフェスわんだふる山口2023 (3月18・19日 来場者 17千人) 等
 ⇒ **山口きらら博記念公園年間利用者数 290千人 (R4年度)**
- 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた県内2空港(山口宇部空港、岩国錦帯橋空港)は、移動制限が緩和されたことに加え、利用回復に向け、航空会社や関係団体等と連携した利用促進キャンペーンやPR等を実施したことにより、国内便の年間の利用者数が回復
山口宇部空港の年間利用者数 36.0万人 (R3年度) → 68.9万人 (R4年度)
岩国錦帯橋空港の年間利用者数 13.3万人 (R3年度) → 36.2万人 (R4年度)
- 広域的な交流を支えるため、**幹線道路等の整備を着実に推進。**
 国道・県道の整備完了延長: 5.4 km [R4年度] ⇒ 目標: 50.0 km [R4~R8年度]

- 友好協定等に基づく国際交流事業や、外国人住民等からの相談に多言語で対応する「やまぐち外国人総合相談センター」の運営、外国人住民が基礎的な日本語を学習できる環境整備を図る地域日本語教育推進事業において、効果的に取組を推進

多文化共生の推進が大変重要だと思う県民の割合 39.5% (R3年度) → 40.4% (R4年度)

- 令和4年8月に**ハワイ州との姉妹提携を締結**し、文化・経済・教育などの各分野での交流の深化を確認。
令和4年11月には、コロナ禍以降初の海外訪問先となった**シンガポールで山口県の「食」や「観光」の魅力**をPR。また、**ベトナム・ビンズン省とは経済・文化・教育・人材面などでの交流をさらに拡大**することを確認し、ベトナム政府訪問では農林水産担当大臣にフグの輸入解禁の検討を要請。

(3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- 交流の拠点となる山口きらら博記念公園の整備
県民の意見の聴取や民間活力の導入可能性の検討等を踏まえ、交流拠点化に向けた基本構想を策定
- 山口きらら博記念公園を拠点としたイベント等による交流拡大
県民活動・スポーツ・文化をはじめとする様々な分野のイベントを年間を通じて開催
様々なセールス活動により全国から集客できる新たな大規模イベントの誘致
- 県内2空港の国内便の利用者数は回復基調にあるものの、過去最高を達成した平成30年度（山口宇部空港：100万人、岩国錦帯橋空港：52万人）には及んでおらず、航空会社や関係団体等と連携した継続的な利用促進PR等が必要である。
- 本格的に回復しつつあるインバウンド需要を直接本県に取り込むため、山口宇部空港国際便の早期再開を目指し、エアポートセールスや就航支援などの取組を進める必要がある。
- 観光旅行者の利便性、快適性、回遊性等を向上させるための観光ルートの形成や、観光地への交通アクセスを強化する必要がある。
- 国際交流の活発化に向けて、友好協定等に基づく取組を進めていくほか、外国人との共生社会の実現に向けた国の取組も踏まえ、本県における多文化共生による地域づくりについて、市町や関係機関等と連携・協働しながら着実に進めていく必要がある。

(参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

新 豊かに生きる「くらし」「アソビ」「ツナガル」公園創出事業

山口きらら博記念公園活性化協議会と連携し、シンボルイベントを開催するなど、県民活力の創出・発信を図るとともに、県民活力を県内に広く波及させる取組を推進

新 山口きらら博記念公園交流拠点化事業

山口きらら博記念公園の持つポテンシャルを活かし、幅広い世代の県民が集い、交流し、県民の活力を創出・発信するにふさわしい交流拠点施設としての整備を推進

新 山口きらら博記念公園へのイベント誘致

山口きらら博記念公園の豊かな自然、広大なエリア等を活用した大規模イベントの開催を通じて、本県ならではの「にぎわい」がもたらす県民・地域活力の創出と、県内外からの観光客の誘客による

本県経済の活性化を実現

新 きららでキラリ！県民活動促進事業

県民一人ひとりがキラリと輝き活躍できるよう、山口きらら博記念公園でのイベントの開催等を通じて、県民活動の魅力発信や参加機会を提供することにより、団体の活動を活発化させるとともに、県民活動に参加できる環境づくりを促進

新 山口宇部空港への国際便誘致の推進

航空会社や旅行会社へのきめ細かな支援メニューの展開により、国際便誘致の取組を戦略的に推進し、早期再開を実現

新 多文化共生総合推進強化事業

市町や関係機関等と連携・協働し、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生」に向けた地域づくりを推進